

平成25年度因島技術センター初任者研修がスタートしました

15th

因島技術センターは、設立から15年目を迎えました。

平成25年4月4日（木）に因島技術センター初任者研修入校式を行い、今年度の研修がスタートしています。

今年度は会員企業8社から40名が入校し、3カ月間にわたり基礎・基本の習得に取り組みます。

午前10時からの入校式では、運営協議会会長の開会あいさつの後、尾道市長平谷祐宏様、尾道市議会議長檀上正光様より御祝辞をいただきました。



秋吉公廣会長挨拶



尾道市長 平谷祐宏様 祝辞



尾道市議会議長 檀上正光様 祝辞

また、研修生を代表しジャパンマリンユナイテッド株式会社因島工場の西中一馬さんが、「諸先輩が築かれた技術をしっかり受け継ぎ、伝承していく」と、力強く決意を表明し、3ヶ月間御指導をいただく指導員の方々に礼をして、研修が始まりました。

4月の研修では共通基礎技能研修、5月の研修では共通基本技能研修、6月の研修では応用基本技能研修と段階的に研修を行い、研修生を即戦力として現場に送り出せる様、育成します。

☆取得資格☆

- ・玉掛技能講習
- ・床上操作式クレーン運転技能講習
又はクレーン・デリック運転士免許
- ・ガス溶接技能講習
- ・NK溶接士技量資格 2-F
- ・アーク溶接等の業務に係る特別教育

最後になりましたが、本研修の実施に多大なる御尽力を頂きます指導員の皆さまに敬意を表すると共に、研修の運営に多大なる御支援を頂きます、国土交通省、日本財団、一般社団法人日本造船工業会、社団法人日本中小型造船工業会、社団法人日本造船協力事業者団体連合会の皆様を始め、関係各位の皆様にご心より御礼申し上げます。

心ころころ尾道

C O C O R O N O M I C H I

<お問い合わせ先>

因島技術センター運営協議会事務局 担当 稲田 吉弘
TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203

<http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html>



研修生代表 決意表明



因島技術センター初任者研修1カ月コースが修了しました

平成25年4月4日（木）より開講していた初任者研修の1カ月コースが修了しました。

4月の研修では、共通基礎技能研修と位置付けて、「安全教育」「図面の見方」「アーク溶接」「ガス切断」「玉掛」「床上クレン」「グラインダー」などの科目を実施しています。



床上クレン



アーク溶接



玉掛

また、4月12日（金）には特別教育として、株式会社アイメックスから、因島技術センターの卒業生であります木坂雄一さん、江藤維晃さんや、国土交通省中国運輸局因島海事事務所より村上雅樹所長、財務省神戸税関福山税関支署より斎藤武治因島出張所長らをお招きして「ディーゼルの構造と図面の見方」「ボイラーの概要について」「船舶安全法」「造船業界と税関の関わり」「税関の密輸取締業務」について講義を行いました。



なお、40名の研修生のうち11名は、1カ月コースで研修を終え5月からそれぞれの職場において、この研修で学び得た事を基に、さらに精進される事を願っております。

5月の研修については、基本技能研修と位置付けて、CO2溶接や造船組立を追加したカリキュラムで実施します。研修生の皆さん、引き続き頑張ってください。

☆1カ月コースを修了した研修生から☆

- *溶接は3日間の実習で、次から次へとやる事があって、ついて行くのがやっとの感じだった。
- *この研修で、気の合う仲間とも多く出会う事ができ、互いに切磋琢磨しながら学ぶことができた。
- *1カ月という短い研修期間でしたが、知識、実力もついたと思うので、会社に帰っても学んだ事を忘れず仕事に挑んでいきたい。
- *玉掛は、現場に出て実際に最も使う事が多くなるだろうと思い、より集中して取り組んだ。
クレンは、見た目では簡単そうだったが、習うより慣れろという言葉が良く当てはまる科目だった。
この研修を入社してすぐの4月に受けられた事は非常に有益だった。6月の玉掛、クレンの資格取得に向けて努力を続けたい。
- *玉掛は、荷の重心を求めることと、鋼板を倒す事が難しかった。1カ月を通して、現場の技術を少しでも知る事が出来た事は、今後の仕事で必ず役に立つと思う。
- *設計職ですが、現場で溶接や切断がどのようにしているかを知る事は、設計をしていくうえで必要だと感じた。

<お問い合わせ先>

因島技術センター運営協議会事務局 担当 稲田 吉弘

TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203

<http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html>

因島技術センター初任者研修2ヶ月が経過しました

5月からの研修では、共通基本技能研修と位置付けて、より踏み込んだ技能の習得を目指しております。



CO2実技テスト



造船組立指導



玉掛指導

また、5月22日（水）には一般財団法人日本海事協会様より講師をお招きして、「船舶損傷事例と教訓」と題した特別講義を行い、南野講師より、損傷発生事例を交えながら、溶接作業における留意点を説明していただきました。

講義の最後には福井講師から、「人間であれば、しんどくても一日頑張ると、その後に休む事が出来る。しかし、自然現象は絶対に待ってくれない。」
「作業不良による損傷は、必ず決められた場面で発生する。」
「その結果、皆さんの企業に多大なる損害が発生し、場合によっては人命にかかわる事例となってしまいます。」
「その事を忘れず、習った通りの溶接作業をして下さい。」
と、研修生に対して励ましの意味も込めて言葉をいただきました。福井様、南野様ありがとうございました。



海事協会による特別講義

6月の研修からは、各種資格の取得に向けた、座学・実技両面からの実習になります。テストのプレッシャーもあるかと思いますが、研修生の皆さん、引き続き頑張ってください。

平成25年度安全体感研修「夏季定期講習」を開講します!!

今年も安全体感研修「夏季定期講習」の開講が決定しました！

因島技術センターの安全体感研修は参加型・体験型の研修となっており、危険回避の為にはどう行動すればよいかという行動が危険なのかをより身近に体感して頂けるプログラムとなっています。

通常であれば10名以上のオーダー型研修となっていますが、この定期講習期間中は1名からの受講が可能です。是非この機会に新入社員のみならず従業員への安全教育に御利用下さい。

<詳細>

定期講習期間：平成25年7月16日（火）～19日（金）

受講時間：①08時30分～12時00分
②13時00分～16時30分

受講料金：お1人様 3,150円（消費税込）

持参物：筆記用具・作業着・安全帽
安全靴（長編または短編+脚絆）
安全帯（事務局まで御相談下さい）

<お問い合わせ先>

因島技術センター運営協議会事務局 担当 稲田 吉弘
TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203

<http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html>



初任者研修でも体感しています!!

匠の技「撓鉄」造船ニッポンの技能を伝承!!

平成25年度「撓鉄中級専門技能研修」の受講者を募集しています。

今年度も、11月11日(月)より5日間「撓鉄中級専門技能研修」を開講します。匠の技と言われる「撓鉄」の技術を継承しようと、初級研修を平成16年より3年間開講し、平成19年より現在の中級研修を開講。本年度、通算10年目を迎える、因島技術センターで最も歴史のある専門技能研修です。



昨年の研修風景です。9社12名で実施しました。

本研修は、線状加熱の作業ができる者を対象に複雑な曲面外板の施行方法の習得を目的として実施します。座学講義は、DVD教材やテキスト、パワーポイント副教材を用いて実施し、実技研修では4名1班に分かれ、プレス加工や、深絞りの皿型板、深絞りの鞍型板、純捻れ板の製作を行います。

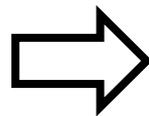
また、実技研修の様子は適時ビデオ撮影し、翌日の座学講義の中で作業の問題点について確認し、実技研修に活かしていく内容となっております。

皆様のご参加をお待ちしております。

★★専門研修の受講料を減額しました!!!★★

今年度より、「撓鉄」「溶接」「配管艤装」の各専門研修の受講料を減額改訂しました。

	(現行)	
	会員企業	全国募集
撓鉄中級	105,000	157,500
溶接中級	105,000	157,500
配管艤装	52,500	105,000



	(改定)	
	会員企業	全国募集
	70,000	105,000
	70,000	105,000
	35,000	52,500

平成25年度安全体感研修「秋季定期講習」を実施しました!!



9月17日から20日において、安全体感研修「秋季定期講習」を開講し、4社28名が受講されました!!

この研修は、遠方からの受講も多く、業種別に見ても造船業、船用工業のみならず、電気工事業、官公庁、検査機関など幅広い分野から受講をいただいております。

現場にある、身近な危険を知るには、大変効果的な研修です。今後も秋季(11月頃)、冬季(1月頃)、春季(3月頃)の各定期講習を実施する予定ですので、皆様の受講をお待ちしております!!

因島技術センター運営協議会事務局 担当：稲田吉弘

TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203

<http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html>

心ころろ尾道

C O C O R + N O M I C H I

匠の技「撓鉄」造船ニッポンの技能を伝承!!

平成25年度「撓鉄中級専門技能研修」の受講者が決定しました。

今年度の「撓鉄中級専門技能研修」の受講者が決定しました!!

今年度は9社12名のお申し込みを頂きまして、11月11日(月)から15日(金)までの5日間にわたって実施します。

本年で10年目を迎えた「撓鉄」は、各地に設立されている技能センターの中でも、因島技術センターのみで実施している研修であり、大変高い評価をいただいております。

因島近隣の地域のみならず、造船業界全体の技能伝承のためにと設けた全国募集の枠に、本年も、神奈川県、山口県、熊本県と遠方からの申し込みをいただきました。

研修生の皆さん、匠の技の習得のため、頑張ってください。

また、当センターの研修の実施にあたり、多大なる御支援をいただきます国土交通省、日本財団、一般社団法人日本造船工業会、一般社団法人日本中小型造船工業会、一般社団法人日本造船協力事業者団体連合会の皆様を始め、関係各位の皆様がこの場を借りまして、心より御礼申し上げます。



～参加企業一覧～

・内海造船株式会社	2名	・株式会社篠崎造船鉄工所(熊本県)	1名
・株式会社三和ドック	1名	・旭洋造船株式会社(山口県)	1名
・Hitz日立造船株式会社	2名	・株式会社新笠戸ドック(山口県)	1名
・本瓦造船株式会社	2名	・日本地区造修統括本部(神奈川県)	1名
・向島ドック株式会社	1名		

☆☆研修で、皆様にお会いすることを楽しみにお待ちしております。☆☆

平成25年度「溶接中級専門技能研修」の受講生を募集しています!!

もう一つ上を目指して

「溶接中級専門技能研修」の開講が次のとおり決定しました。

本研修では、溶接技術のワンランクアップ及び技能職種の多能化を目的として実施し、現在取得している資格のもう一つ上の資格の取得を目指した研修としております。

また、本年より、通常の「手溶接」と「CO2溶接」に加えて、「TIG溶接」コースを設け、多様な技能の習得に取り組みます。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成25年12月4日(水)～平成25年12月13日(金)

午前8時00分～午後5時00分

場所 Hitz日立造船株式会社因島工場内

対象者 入社1～3年程度の造船技能者

定員 10名～15名程度

受講料 因島技術センター会員企業 70,000円(税込)

その他の全国募集 105,000円(税込)

◎受講料を減額しました

*受講の詳細は、事務局までお問い合わせください。

因島技術センター運営協議会事務局 担当 稲田吉弘

TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203

<http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html>

もう一つ上を目指して 平成25年度溶接中級専門技能研修を開講します!!

平成25年度因島技術センター「溶接中級専門技能研修」を12月4日(水)より開講します。この度は、5社14名にて実施します。本年より、従来の「手溶接コース」「CO2溶接コース」に加え、新たに「TIG溶接コース」を設けたところ、7名の申し込みをいただきました。当センターの溶接中級研修では、技量向上だけでなく今取得している資格の「もう一つ上」を目指す研修と位置付けていますので、「TIG溶接」についても、NKの基本級の資格取得を目指します。

～参加企業一覧～

- | | | | |
|--------------------|-----------|-------------|----|
| ・内海造船株式会社 | 4名 | ・株式会社三和ドック | 4名 |
| ・ジャパソマリノテック株式会社 | 4名 | ・イワキテック株式会社 | 1名 |
| ・MHI下関エンジニアリング株式会社 | 1名 (全国募集) | | |



「匠の技」伝承完了!! 平成25年度の撓鉄中級専門技能研修が修了しました!!

撓鉄中級専門技能研修を11月11日(月)～15日(金)の5日間に亘り、株式会社三和ドックにおいて実施しました。本年度は会員企業のほか、神奈川、山口、熊本各県から参加があり9社12名での研修となりました。



DVDなどによる座学講義により理解を深め、実技実習では、深絞りの皿型と鞍型を中心に各班2人1組に分かれて作業を行いました。研修生は「匠の技」を少しでも多く学び取ろうと真剣に取り組んでおり、修了試験では、全員が良好な成績を修める事ができました。研修の運営にあたりまして多大なご支援をいただきました関係機関の皆様をはじめ、快く施設を提供していただきました株式会社三和ドック様、熱意をもって指導していただきました指導員の皆様に厚く御礼申し上げます。



平成25年度「配管艤装初級専門技能研修」の受講者を募集しています!!

平成25年度因島技術センター「配管艤装初級専門技能研修」の開講が決定いたしました。本研修は配管艤装の初歩として配管艤装の概要、簡単な管一品の製作、サポートの取り付け、配管及び合わせ管の取り付けについて座学講義と実技を通し、研修生一人一人の学びを確認すると共にそこから導かれる実践力を養います。

- ・日程 平成26年2月4日(火)～2月7日(金) *4日間
- ・定員 10名(会員企業、全国募集含む)
- ・受講料 因技C会員35,000円 その他企業52,500円(テキスト代含む)
- ・場所 内海造船株式会社 重井事業所

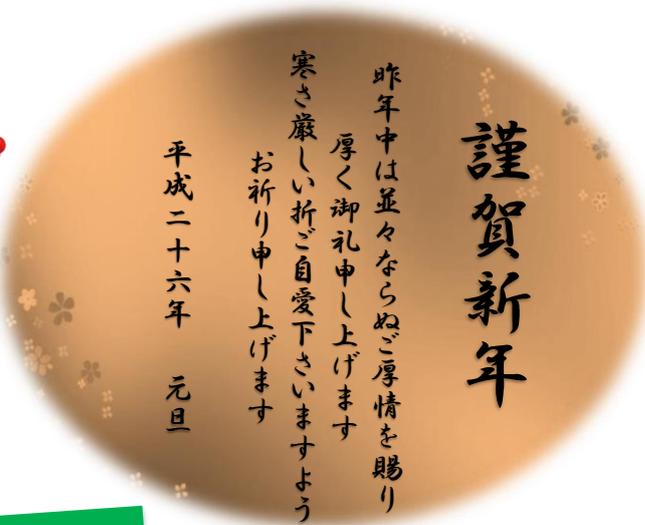
TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203

<http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html>



心ころころ尾道

C O C O R + N O M I C H I



溶接専門技能研修が修了しました！

平成25年12月13日に因島技術センター溶接中級専門技能研修が修了しました。この度は5社14名での研修となりました。

本年より、TIG溶接コースを取り入れ、因島技術センターでは初めて、TIGでのNK技量試験の資格取得にも取り組みました。

12月12日の試験では、手溶接、CO2溶接の研修生も受験し、緊張した面持ちでありましたが、研修の成果を活かそうと、真剣に取り組む、全員が合格する事ができました。

8日間に亘る研修では溶接の基礎を、座学及び実技の両面から学びながら「ワンランクアップ」のテーマの下、一人一人が常に問題意識を持って真剣に取り組んでいました。

研修生の皆さんは、本研修で習得した技能に自信を持って、現場に戻られても、日々の業務に邁進される事を願っております。



手、CO2溶接



TIG溶接見本



TIGパイプ溶接

最後になりましたが、研修の運営に多大なる御支援を頂きました、国土交通省、日本財団、一般社団法人日本造船工業会、一般社団法人日本中小型造船工業会、一般社団法人日本造船協力事業者団体連合会の皆様をはじめ、研修の実施に御協力を頂きました、内海造船株式会社、運営協議会の皆様、指導員の皆様に心より御礼申し上げます。

平成25年度因島技術センター配管艤装初級専門技能研修の研修生を募集しています。

平成25年度因島技術センター「配管艤装初級専門技能研修」の開講が決定いたしました。本研修は配管艤装の初歩として配管艤装の概要、簡単な管一品の製作、サポートの取り付け、配管及び合わせ管の取り付けについて座学講義と実技を通し、研修生一人一人の学びを確認すると共にそこから導かれる実践力を養います。

- ・日程 平成26年2月4日(火)～2月7日(金)＊4日間
- ・定員 10名(会員企業、全国募集含む)
- ・受講料 因技C会員35,000円 その他企業52,500円(テキスト代含む)
- ・場所 内海造船株式会社 因島工場(重井事業所)



平成25年度因島技術センター配管艤装初級専門技能研修を開講します

平成25年度因島技術センター「配管艤装初級専門技能研修」の研修生が決定致しました。この度は会員企業5社のほか、全国募集枠に、平戸鉄工造船株式会社、株式会社江田島造船所からも申し込みをいただき、9名での研修となります。

2月4日(火)から2月7日(金)までの4日間開講し、配管艤装の概要、管一品の製作、サポート及び合わせ管の取り付けの知識と技能の習得を目指します。



座学講義は、社団法人中小型造船工業会作成のテキスト及び映像教材を用いて行い、実技研修では、2班に分かれ、フランジとスリーブ継手を有するZ管の製作、L型の合わせ管の製作と取り付けを行うこととしております。

●	内海造船株式会社	1名
●	ジャパソマリユナイト株式会社	1名
●	イワキテック株式会社	2名
●	向島ドック株式会社	1名
●	瀬戸内クラフト株式会社	1名
●	株式会社江田島造船所	2名
●	平戸鉄工造船株式会社	1名



☆☆研修で皆さんにお会い出来る事を心待ちにしています! ☆☆

平成26年度因島技術センター初任者研修の受講生を募集しています。

日時 平成26年4月4日(金)～平成26年6月30日(月) ※58日間
午前8時30分～午後5時30分

定員 80名程度

受講料 因島技術センター会員企業 97,200円(税込)3ヶ月間

その他の全国募集 194,400円(税込)3ヶ月間

*受講の詳細は、事務局までお問い合わせください。

因島技術センター運営協議会事務局 担当 稲田吉弘

TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203

心ころころ尾道

C O C O R + N O M I C H I

平成25年度配管艤装初級専門技能研修が修了しました!!

平成25年度因島技術センター「配管艤装初級専門技能研修」が修了しました。雪が降る寒さの中、研修生の皆さんは懸命に配管艤装の基礎を学び、全員が配管艤装3級を取得することが出来ました。カリキュラムの合間には、一人一人が何を学びたいかを確認し、自発的にも学べるよう、随時変更しながら行いました。

指導員とも、日々の疑問点や、会社に戻ってからの仕事に対する姿勢などのコミュニケーションをとりながらの研修となり、有意義な4日間であったかと思えます。



管一品取付



ベンダーによる曲げ加工



研修生代表謝辞



塩ビ管組立



銅管ロウ付け



記念撮影

研修生の皆さんは、この経験を活かして、各社へ帰って活躍して頂きたいと思えます。

また、この研修におきましても多大なるご支援を頂きました、国土交通省、日本財団、一般社団法人日本造船工業会、一般社団法人日本中小型造船工業会、一般社団法人日本造船協力事業者団体連合会の皆様をはじめ、研修の実施に御協力頂きました、内海造船株式会社、運営協議会の皆様、指導員の皆様に心よりお礼申し上げます。

平成26年度因島技術センター初任者研修を開講します。

平成26年4月4日(金)から、因島技術センター初任者研修が始まります。

今回で16回目を迎える初任者研修は、9社41名での開講となります。

『未来の造船業界を担う宝』を、基礎・基本を指導して即戦力として現場に送り出せるよう、育成します。指導員の皆様方、よろしくお願い致します。研修生の皆さんは、「3ヶ月間」という長いようで短い時間が有意義なものになるよう研修に励んで下さい。

また、研修の実施に多大なるご支援を頂きます関係機関の皆様方に心より御礼申し上げます。

因島技術センター運営協議会事務局 担当 稲田吉弘

TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203

<http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html>

心ころころ尾道

C O C O R O N O M I C H I